



登米地域での懇談会

首長との懇談会は、近年の広域行政合併により、一つの行政区域に複数の商工会または商工会議所と商工会が併存する状況が顕著になっており、行政当局と経済団体との間で、地域商工振興施策等について、今まで以上に緊密な調整を図る必要性が生じていることから、県内五地区の広域行政合併市を対象に、昨年度から実施しております。

本懇談会では、行政と経済団体が一体となった商工振興策を展開するとともに、新た

な役割分担を共有しつつ綿密なる連携等を図りながら地域振興、商工振興策を推進し、相互の均衡ある事業活動等を展開することを目的に開催しております。

登米市では、去る一月二十三日（火）ホテルサンシャイン佐沼において、登米市長と市内三商工会長との懇談会が、布施孝尚市長をはじめ、市の産業経済部次長、商工観光課長、担当職員及び宮城県産業経済部団体指導検査課、登米地方振興事務所長・地方振興



挨拶する布施 登米市長



挨拶する森 本吉町長

部班長等多数出席の下、開催されたところであり、市内の各商工会より事業活動状況や取組事例等が報告され、市担当者からは商工業施策等について説明がなされました。

その後の意見交換では、融資制度への要望や、大型店問題、空き店舗対策、創業支援対策や、地区内購買力拡大策として、共通商品券の発行など地区内小売業者の活性化に向けた消費流出防止策について意見交換がなされております。

また、気仙沼市長・本吉町長と商工会議所・商工会との懇談会は、一月二十九日、気仙沼市ホテル気仙沼プラザで開催され、気仙沼・本吉地域の商工振興策の推進と事業連

携について意見交換がなされ、鈴木昇気仙沼市長、森塚男本吉町長をはじめ、気仙沼市産業部・唐桑総合支所産業課・本吉町産業振興課、気仙沼地方振興事務所長等多数のご出席をいただき懇談会が開催され、平成十九年開通予定の三陸自動車道を活用した事業の推進や、仙台・宮城デステイネーションキャンペーンをチャンスと捉え、気仙沼地方への誘客事業の推進や、地域経済の活性化に向け、一関工業団地と連携した雇用確保と消費拡大に対する施策や、気仙沼・本吉地域ブランドの確立による地産地消に向けた取組みなど、活発な意見交換がなされました。



気仙沼地域での懇談会

**登米地域・気仙沼地域
「首長との懇談会」を開催**

「登米市長と商工会長との懇談会」
「気仙沼市長・本吉町長と商工会・商工会議所との懇談会」

企業の繁栄に **特別増強運動展開中!**

商工貯蓄共済制度

ひとつの掛金で3つの備え

貯蓄 + 融資 + 生命保障

加入者	商工会会員及びその家族・従業員
被保険者	6歳から65歳までの健康な方
掛金	1口月額2,000円
加入口数	被保険者1人につき30口まで
加入期間	5年間 10年間
融 資	加入1口につき50万円(加入後6ヶ月) 最高1,500万円 設備5年以内 運転5年以内 (融資の諾否は取扱金融機関)
保 険 金	年齢により1口25万円~100万円